

問番号	調査項目	ねらい・分析の視点
	○団体概要	
F1	団体名・連絡先	団体概要の把握や回答内容の確認等に活用
	活動年数・法人資格取得時期	活動歴による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
	活動地域	活動区域による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
F2	会員数・団体会員数	団体規模による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
	女性会員の割合	性別の偏りや男女比による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
F3	主な会員の年齢層	年代による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
F4	コロナ前後の年間予算・主な収入源・主な支出費目	コロナウイルスによる財政的な影響を把握するとともに予算規模による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
	○活動内容について	
1	活動分野	市内団体の活動内容の傾向を把握するとともに活動分野による現状・課題の差などクロス集計の分析軸として使用
2	コロナ前の活動場所・活動施設	コロナ前の状況とコロナ禍で生じた課題を掛け合わせ、影響を受けた活動や活動の継続に関する課題を把握する。
3	コロナ前の活動実績	
4	活動を立ち上げる際の課題	団体を立ち上げるにあたって苦労した点、直面した課題について把握。また、経年比較を行い、10年間の傾向の変化を把握する。
5	コロナ前の団体活動を継続する上での課題	活動を継続するにあたって直面している課題点を把握する。また、経年比較を行い、10年間の傾向の変化を把握する。
6	問5で挙げた課題に対する取組・行政に求める支援	運営上の課題に対して団体として取り組めることと行政に求める支援を具体的に把握する。
7	活動に対するコロナウイルスの影響・生じた課題	新型コロナウイルス感染症のまん延によって直面している課題点を把握する。
8	コロナの影響を受けつつも新たに取り組んでいること・行政に求める支援	各団体の創意工夫を把握し、同様の課題を抱える団体に向けた参考資料とする。また、行政に求める支援を具体的に把握する。
	○情報・ICT等の活用について	
9	情報発信の手段	活動や団体支援の担い手確保につながる情報発信について、傾向を把握し行政として力を入れていくべき支援を把握する。
10	ICT等の利用状況	新型コロナウイルス感染症の影響で新たに利用を拡大した傾向について把握する。また、団体間や、活動分野、会員の年齢層ごとのデジタル・ディバイドを把握する。
10①	ICT等の具体的な活用状況	
11	ICT等に対して、感じている課題	活用してみたいと感じているながらも困難を感じている団体やその状況を把握する。

問番号	調査項目	ねらい・分析の視点
	○他団体との協力・連携状況	
12	他団体（行政・企業を含む）との協力・連携実績と内容	各団体と行政・市民活動団体・市民社協・教育機関・コミセン等との連携状況を把握する。
12①	行政との協働・連携内容	行政との連携について現状を把握するとともに、良かった点や課題など、さらなる連携体制の強化に向けて取り組むべきことを把握する。
12②	行政との協働・連携においてよかった点	
12③	行政との協働・連携においての団体の課題	
12④⑤	行政との今後の協力・連携の意向、具体的な内容	
12⑥	行政との協働・連携においての行政の課題と求めたいこと	
12⑦	他団体との協働・連携内容	他団体との連携について現状を把握するとともに、今後の意向など、コーディネートに向けて取り組むべきことや視点を把握する。
12⑧⑨	他団体との今後の協力・連携の意向、具体的な内容	
	○武蔵野プレイスについて	
13	武蔵野プレイスにおける市民活動活動支援機能について、使用状況と満足度、今後の重要度	市民活動支援機能の利用状況及び要望など、取り組むべきことを把握する。
14	市民活動フロアについて気づいたこと	プレイスに関する課題や要望などを幅広く把握する。
	○市の施策や今後の取り組みについて	
15	団体として相談等を通じて求めたいアドバイスや講座	今後の事業検討に活用する。
16	市に求めたい支援	自由記述として、現状や要望など書ききれなかった内容を記載いただくことで団体の現状把握や今後の事業検討に活用する。
17	市の施策に対する満足度と重要度	満足度と重要度を点数化し、今後取り組むべき項目の参考とする。